

●実務経験のある教員等による授業科目

総合エンタテインメント科

サウンドクリエイターコース レコーディング専攻

	科目	1年	2年	3年	必修の別	授業形式	実務経験の有 無の別	実務経験授業 の時間数
全 科 共 通 科 目	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ	54	51	51	必修	講義	○	156
	デビュー・就職実務Ⅰ	80			必修	講義		－
	デビュー・就職実務Ⅱ		53		必修	講義		－
	著作権		19		必修	講義		－
	PC実習	54			必修	講義		－
	選択授業	34	34	34	必修	講義		－
	異文化研究	15	15		必修	講義		－
	イベント制作実習A	129	118	118	必修	実習	○	365
	イベント制作実習B	311	311	311	必修	実習	○	933
専 門 科 目	Pro Tools基礎	34			必修	講義		－
	EDIT実習	17			必修	実習		－
	スコアトレーニング	17			必修	講義	○	17
	Pro Tools実習Ⅰ	36			必修	実習	○	36
	レコーディング実践Ⅰ	34			必修	実習	○	34
	レコーディング実践Ⅱ		34		必修	実習	○	34
	レコーディング実習Ⅰ	72			必修	実習	○	72
	レコーディング実習Ⅱ		72		必修	実習	○	72
	ミキシング実習Ⅰ	36			必修	実習	○	36
	ミキシング実習Ⅱ		34		必修	実習	○	34
	MA実習／作曲実習		36		選択	実習	○	36
	JAPRS検定対策		36		必修	講義	○	36
	スタジオワーク	34	34		必修	実習	○	68
	選択必修※「選択必修科目一覧表」参照			301	選択必修	科目による	科目による	
								－
合計	総授業時間数	957						
合計	総授業時間数		847					
合計	総授業時間数			815				
合計	総授業時間数							合計
卒業時最少時間		2619						1929

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	51 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2022年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィー、合同会社UNITY 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		前期・後期	
			必修	
対象学年	1	年	総授業時間	80 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。 また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定			
------	---	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導①、新潟県について
2	社会人としてのルールの基本指導② 卒後やアルバイトで役に立つ労働法クイズ
3	第1編1章 メールについて①
4	第1編2章 メール発信のフィードバック、送付状の書き方①
5	第1編3章① 送付状の書き方フィードバック 就職につながるフジロック等アルバイト説明
6	第1編3章② 履歴書の書き方指導、前期期末試験(課題提出)について説明
7	第2編1章 コミュニケーション、敬語
8	第2編2章 コミュニケーション、敬語
9	第2編3章 ビジネス文書(社内・社外)、グラフ
10	第3編1章① 特別講師による講義・レポート提出
11	第3編1章② 特別講師による講義・レポート提出
12	第3編2～5章 社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
13	ジョブカードを使用した進路先確認① 特別講師による講義・レポート提出
14	ジョブカードを使用した進路先確認② 特別講師による講義・レポート提出
15	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
16	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
17	第3編2級課題慶事のマナーなど① 特別講師による講義・レポート提出
18	後期期末試験(課題提出)について説明、進級時特待の案内 特別講師による講義・レポート提出
19	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導
20	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶 (コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	53 時間
対象学科	全学科	対象コース	全コース	

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。デビュー・就職の実現に向け随時個別ヒアリングとフォローを実施。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望：【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。 就職志望：I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。
2	アーティスト志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談 就職志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談
3	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望：履歴書作成（基本的な作成/志望動機/自己PRなど）
4	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：履歴書作成（基本的な作成/志望動機/自己PRなど）と提出
5	アーティスト志望：プロフィールシートの添削フィードバック 就職志望：履歴書・必要書類の添削フィードバック
6	アーティスト志望：①【活動報告書】の作成と提出 就職志望：①【活動報告書】の作成と提出
7	アーティスト志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
8	アーティスト志望：オーディション対策（自己PRの練習） 就職志望：面接対策（自己PR、志望動機の練習）
9	アーティスト志望：個別面談・フィードバック 就職志望：個別面談・フィードバック
10	アーティスト志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など 就職志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など
11	「コミュニケーション検定」補講・検定
12	アーティスト志望：②【活動報告書】の作成と提出 就職志望：②【活動報告書】の作成と提出
13	アーティスト志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
14	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望：②面接対策（自己PR、志望動機の練習）
15	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー（内定者）
16	アーティスト志望：③【活動報告書】の作成と提出 就職志望：③【活動報告書】の作成と提出
17	アーティスト志望：③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
18	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー（内定者）

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視聴&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	54 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	141 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	283 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	126 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	288 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	Pro Tools基礎		実務授業の有無	×
担当講師	桑原 陽樹		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	Pro Toolsというソフトの導入・立ち上げ・使用方法を学び、レコーディング、ミキシングに関するショートカットやノウハウを学び、2年次受験の「Pro Tools技術認定試験」への対策も行う
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Pro Toolsの基礎、Pro Tools試験の概要、ショートカット、昨年の試験問題
2	Pro Tools問題集[初級]より: 概要、セッションとトラック、録音
3	Pro Tools問題集[初級]より: 編集、ミキシングの基礎
4	Pro Tools問題集[初級]より: プラグイン、オートメーション、ミックスダウン、シンク、セッションデータのインポート／エクスポート、MIDI
5	Pro Tools問題集[初級]より: 用語集・ショートカットなど 技術資料集
6	Pro Tools問題集[中級]より: 概要、セッションとトラック、録音
7	Pro Tools問題集[中級]より: 編集、ミキシングの基礎
8	Pro Tools問題集[中級]より: プラグイン、オートメーション、ミックスダウン、シンク、セッションデータのインポート／エクスポート、MIDI
9	Pro Tools問題集[中級]より: 用語集・ショートカットなど 試験対策: 過去問題
10	試験対策、過去問題
11	試験の答え合わせ、回答の解説
12	Pro Toolsを使用したレコーディング実習
13	Pro Toolsを使用したレコーディング実習
14	Pro Toolsを使用したレコーディング実習
15	Pro Toolsを使用したレコーディング実習
16	Pro Toolsを使用したレコーディング実習
17	まとめ
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度50%。学習意欲を50%をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	EDIT実習		実務授業の有無	×
担当講師	桑原 陽樹		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	17 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	Pro Toolsを使用したVoのピッチ補正、ノイズ除去、また楽曲のカットの方法、ショートカットキーを使用したPro Toolsの操作などを重点的に学ぶ。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	導入・Pro Toolsを使用してできるEDIT方法紹介
2	Pro Toolsを使用した楽曲編集の方法 講義
3	Pro Toolsを使用した楽曲編集の方法 実習① BPMの合わせ方
4	Pro Toolsを使用した楽曲編集の方法 実習② 簡単な楽曲編集
5	Pro Toolsを使用した楽曲編集の方法 実習③ 高度な楽曲編集
6	Pro Toolsを使用した楽曲編集の方法 実習④ 高度な楽曲編集
7	ノイズ除去、EQについて 講義
8	ノイズ除去、EQについて 実習
9	ヴォーカルピッチ補正 Melodyneでできること 講義
10	ヴォーカルピッチ補正 Melodyneでできること 実習①
11	ヴォーカルピッチ補正 Melodyneでできること 実習②
12	ヴォーカルピッチ補正 Melodyneでできること 実習③
13	ヴォーカルピッチ補正 Melodyneでできること 実習④
14	ヴォーカルピッチ補正 Melodyneでできること 実習⑤
15	その他のEDIT いろいろ
16	その他のEDIT いろいろ
17	まとめ
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度50%。学習意欲を50%をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	スコアトレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	佐藤 和音		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	17 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	レコーディングエンジニアとして、楽譜は演奏者との共通のコミュニケーションツールであり、その読解は円滑にレコーディングを進めるにおいて大事なものである。 楽譜の読み書きを学ぶことで、実習、実践においてスムーズにレコーディングを勧められることを目標に授業を進める。			
------	---	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	導入・動機付け、授業概要説明、五線譜ノートの配布 楽器・楽譜の種類について
2	音部記号、音名、五線のそれぞれの名称、小節線
3	反復記号
4	反復記号 実際の楽曲を譜面に記載してみる
5	反復記号 実際の楽曲を譜面に記載してみる
6	音符と臨時記号
7	音符と臨時記号
8	前期テスト
9	後期導入、前期復習テスト
10	拍子と拍子記号
11	拍子と拍子記号 発表
12	音符と休符
13	音符と休符 リズム聞き取り
14	音符と休符 16分音符
15	音符と休符 リズム聞き取り
16	音符と休符 譜面起こし
17	後期テスト
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度25%、テスト結果50%、学習意欲25% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ピアノ＆ヴォーカルユニット「Cacis」のピアニスト・作曲家として新潟市を拠点に18年活動

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	Pro Tools実習 I			実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	36	時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース	

授業概要	レコーディングの授業と連携し、Pro Toolsの使用方法をより深く学ぶ。 2年次に受験する「Pro Tools技術認定試験」Aランク取得に向けて、問題集に取り組む。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション:DAWとは？／レコーディング業界でのPro Toolsの現状／この授業で何を習得するか
2	Pro Toolsの起動(Mac操作も含め)／各ウインドウ／再生／トラック作成／オーディオインポート／保存／終了
3	編集ツール・モード／拡大・縮小／編集機能
4	ミックスウインドウの主な機能／プラグインについて／インサート系・センドリターン系エフェクトについて
5	録音／プレイリスト／再生モード／録音モード／オーディオインターフェイス
6	素材録音～編集(リズムパターンの作成)～ミックス①
7	素材録音～編集(リズムパターンの作成)～ミックス②／テンポの変化／エラスティックオーディオ
8	バウンス／PCMについて／音声ファイル形式について／マーカー、メモリーロケーションについて
9	実技テスト:(録音、リズムパターン作成、ミックス、バウンス)／筆記テスト
10	マスターフェーダー／トラック／クリップトラックの作成(プラグイン、オーディオ)／表示について
11	トラックビュー／オートメーション(リアルタイム、編集ウインドウ、プラグイン)／非アクティブ(トラック・プラグイン)
12	AudioSuite／グループ(トラック・クリップ)／統合／クリップエクスポート／クリップリストについて
13	設定(プレイバックエンジン、ハードウェア、セッション、I/O、ディスク割り当て)
14	ストリップサイレンス、Beat Detectiveを使った編集
15	Quick Timeムービーを使った編集・書き出し等について
16	後期課題作成:(イメージビデオインポート、オーディオ録音、MIDI入力、ビート編集、AudioSuite、プラグインを使ったMix、ビデオとして書き出す)
17	後期課題作成:(イメージビデオインポート、オーディオ録音、MIDI入力、ビート編集、AudioSuite、プラグインを使ったMix、ビデオとして書き出す)
18	後期課題作成～提出
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題50%、授業態度30%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	レコーディング実践Ⅰ		実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	学生作品のレコーディングを実際に経験し、レコーディング(ディレクション)⇒ミックス⇒マスタリング⇒納品までを仕事として経験することを目的に学習する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明、ガイダンス
2	レコーディングエンジニアの仕事について、ミックス、マスタリングの仕事とは、音の違い。
3	レコーディング実習
4	レコーディング実習
5	レコーディング実習
6	レコーディング実習
7	ミキシング実習
8	ミキシング実習、マスタリング実習
9	前期まとめ、反省
10	授業概要説明、ガイダンス
11	レコーディング実習
12	レコーディング実習
13	レコーディング実習
14	レコーディング実習
15	ミキシング実習
16	ミキシング実習
17	マスタリング実習
18	後期まとめ、反省
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	レコーディング実践Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	学生作品のレコーディングを実際に経験し、レコーディング(ディレクション)⇒ミックス⇒マスタリング⇒納品までを仕事として経験することを目的に学習する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明、ガイダンス
2	レコーディングエンジニアの仕事について、ミックス、マスタリングの仕事とは、音の違い。
3	レコーディング実習
4	レコーディング実習
5	レコーディング実習
6	レコーディング実習
7	ミキシング実習
8	ミキシング実習、マスタリング実習
9	前期まとめ、反省
10	授業概要説明、ガイダンス
11	レコーディング実習
12	レコーディング実習
13	レコーディング実習
14	レコーディング実習
15	ミキシング実習
16	ミキシング実習
17	マスタリング実習
18	後期まとめ、反省
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	レコーディング実習Ⅰ		実務授業の有無	○
担当講師	井上 一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	72 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	録音に関するいろはを学び、レコーディング技術を活用出来るようになる。主に、マイクの種類と役割、使用方法。レコーディングの基礎知識。これらを習得して行きながら、レコーディング実習を出来るようになることを目指す。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション／レコーディングエンジニアの仕事とは
2	F7th StudioIについての機材紹介、他スタジオとの違い、各スタジオ紹介
3	マイクの種類、機能、音の違いなどの説明／マイクスタンドの扱い方
4	Pro Toolsについて①／オーディオデータのインポート
5	Pro Toolsについて②／簡単なヴォーカルレコーディング
6	Pro Toolsについて③／簡単なヴォーカルレコーディング
7	Pro Toolsについて④／ヴォーカルエディット
8	Pro Toolsについて⑤／ヴォーカルエディット
9	前期まとめ
10	後期イントロダクション／前期復習
11	バンドセッティングについて／バンドレコーディング
12	バンドセッティングについて／バンドレコーディング
13	バンドセッティングについて／バンドレコーディング
14	各エディット作業
15	各エディット作業
16	各エディット作業
17	各エディット作業
18	後期まとめ
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度50%。学習意欲を50%をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1987年～2003年、Studio TAKEONEにてアシスタントエンジニアとして勤務 2003年、故郷新潟にレコーディングスタジオを開設。2006年、株式会社エヌドライブ設立～代表取締役。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	レコーディング実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	井上 一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	72 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	1年次に学んだレコーディングの技術をさらに応用し、さらに高いレベルでのレコーディング・エディット作業を学ぶ。 実際のエンジニアのレベルまで上げ、レコーディングスタジオへの就職を目指す。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション／レコーディングエンジニアの仕事とは
2	レコーディング実習
3	レコーディング実習
4	レコーディング実習
5	レコーディング実習
6	レコーディング実習
7	レコーディング実習
8	レコーディング実習
9	前期まとめ
10	後期イントロダクション／レコーディングエンジニア募集状況について
11	レコーディング実習
12	レコーディング実習
13	レコーディング実習
14	レコーディング実習
15	レコーディング実習
16	レコーディング実習
17	レコーディング実習
18	後期まとめ
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度50%。学習意欲を50%をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1987年～2003年、Studio TAKEONEにてアシスタントエンジニアとして勤務 2003年、故郷新潟にレコーディングスタジオを開設。2006年、株式会社エヌドライブ設立～代表取締役。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ミキシング実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	ミキシングの基礎を学び楽曲の構造や演出の理解を深める。 基本的なプラグインの使い方を学び、デモ音源・楽曲のクオリティーを最大限に高める手法を習得する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 データ形式やミキシングについての基礎知識
2	参考トラックを用いたミキシング ヴォリュームとパン
3	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・コンプレッサー/ゲート
4	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・イコライザー(楽器別の周波数の特性)
5	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・イコライザー(楽曲全体での周波数の特性)
6	参考トラックを用いたミキシング AUXトラック、オートメーション、プラグイン・リバーブ、ディレイ
7	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・マキシマイザー、リミッター
8	課題トラックのミキシング ミックスダウン
9	課題提出 まとめ
10	後期動機づけ 授業の趣旨
11	プラグインの使い方の応用 複数のプラグインの組み合わせ サイドチェイン
12	マスタリングについての基礎
13	MIDIトラックの書き出し方
14	オリジナル曲のミキシング
15	オリジナル曲のミキシング
16	オリジナル曲のミキシング
17	オリジナル曲のミキシング ステムデータの書き出し データ確認
18	オリジナル曲のミキシング ステムデータ・マルチデータ・2MIX提出
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	課題50%、授業態度30%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ミキシング実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	レコーディング実習と連携し、学生作品のミキシングを行い、レベルを上げていく。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 1年次の復習
2	オリジナル曲のミキシング
3	オリジナル曲のミキシング
4	オリジナル曲のミキシング
5	オリジナル曲のミキシング ステムデータの書き出し データ確認
6	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
7	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
8	オリジナル曲のミキシング ステムデータ・マルチデータ・2MIX提出
9	前期まとめ
10	後期動機づけ 授業の趣旨 前期の復習
11	オリジナル曲のミキシング
12	オリジナル曲のミキシング
13	オリジナル曲のミキシング
14	オリジナル曲のミキシング
15	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
16	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
17	オリジナル曲のミキシング ステムデータ・マルチデータ・2MIX提出
18	後期まとめ
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	課題50%、授業態度30%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	動画制作実習/MA実習		実務授業の有無	○
担当講師	小林伸嘉	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	選択必修	
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	映画やテレビ、動画での音響、サウンドデザインを学ぶ。
------	----------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション。映画などを事例に映像におけるサウンドデザインとはを解説。
2	サウンドデザインの手順。目と耳を実践的に使ったサウンドデザインの基礎を学ぶ
3	サウンドデザインをクリエイティブに行うヒント。
4	音響学その1。音響の知覚について。
5	音響学その2。心身の能力と音の認知の関係からサウンドデザインのヒントを得る。
6	音楽の認知。音楽を最大に生かすために音楽の起源と仕組みを知る。
7	人の声について。セリフ以外の声にも非言語音声について知る。
8	音とストーリー。音楽や効果音を脚本に合わせて付けるには。
9	まとめ。学習したもののおさらいと補足。
10	サウンドデザイン実習1：脚本を読んで音を考察し、必要な音を考え、音のグループ分けをする。
11	サウンドデザイン実習2：サウンド・マップを考える。必要な音を用意する準備。
12	サウンドデザイン実習3：音楽を考える。音楽を用意する。
13	サウンドデザイン実習4：効果音と環境音を考える。効果音を用意する。（録る・探す）
14	サウンドデザイン実習5：セリフ、声を録る。
15	サウンドデザイン実習6：サウンドマップにもとづいて音の素材を並べる。プリミキシング。
16	サウンドデザイン実習7：最終ミックス
17	サウンドデザイン実習8：最終ミックス
18	サウンドデザイン実習9：完成試写を行う

教科書等	Sound Design 映画を響かせる「音」のつくり方
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%
実務経験教員の 経歴	ブライダルビデオ制作会社勤務8年 テレビ制作会社勤務7年 インターネット動画配信会社勤務3年 映像制作業起業 nobuyosicom(パンダスタジオ新潟)13年 SKYFINDER合同会社 経営7年

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲実習		実務授業の有無	×
担当講師	小川 拓		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	作曲の基礎を学び、自身のオリジナル楽曲にヴォーカルを入れるなど、シンガーソングライターとして活躍もできるようになる。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、授業概要説明、各種DAWの説明
2	作曲基礎1
3	作曲基礎2
4	作曲基礎3
5	作曲基礎4
6	制作実習1
7	制作実習2
8	制作実習3
9	前期成果発表
10	コードとコード進行1
11	コードとコード進行2
12	コードとコード進行3
13	コードとコード進行4
14	メロディライン考察1
15	メロディライン考察1
16	ヴォーカルREC
17	ヴォーカルREC・MIX
18	後期成果発表
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	課題50%、授業態度30%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	JAPRS検定対策		実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	32 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	「サウンドレコーディング技術認定試験」「Pro Tools技術認定試験」のAランク取得に向けた講義
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／検定概要、合格ライン等説明、過去問演習
2	I 音響の基礎理論 概要説明 過去問演習
3	II 音響機器とスタジオシステム 概要説明 過去問演習
4	II 音響機器とスタジオシステム 概要説明 過去問演習
5	III レコーディング技術と先進技術 概要説明 過去問演習
6	III レコーディング技術と先進技術 概要説明 過去問演習
7	IV 音楽、音楽著作権、音楽録音の流れ、録音の歴史など 概要説明 過去問演習
8	IV 音楽、音楽著作権、音楽録音の流れ、録音の歴史など 概要説明 過去問演習
9	過去問演習 自己採点
10	Pro Toolsの基礎、Pro Tools試験の概要、ショートカット、昨年の試験問題
11	Pro Tools問題集[初級]より:概要、セッションとトラック、録音
12	Pro Tools問題集[初級]より:編集、ミキシングの基礎
13	Pro Tools問題集[初級]より:プラグイン、オートメーション、ミックスダウン、シンク、セッションデータのインポート／エクスポート、MIDI
14	Pro Tools問題集[初級]より:用語集・ショートカットなど 技術資料集
15	Pro Tools問題集[中級]より:概要、セッションとトラック、録音
16	Pro Tools問題集[中級]より:編集、ミキシングの基礎
17	Pro Tools問題集[中級]より:プラグイン、オートメーション、ミックスダウン、シンク、セッションデータのインポート／エクスポート、MIDI
18	Pro Tools問題集[中級]より:用語集・ショートカットなど 試験対策:過去問題
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度50%。学習意欲を50%をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	スタジオワーク		実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	レコーディングスタジオで勤務する上でのアシスタントの動きや仕事がスムーズにできるように、実践を通して学んでいく
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業導入、レコーディングスタジオのあり方、仕事内容説明
2	F7th Studioの説明、仕組み、マイクの種類や性能など
3	スタジオワーク
4	スタジオワーク
5	スタジオワーク
6	スタジオワーク
7	スタジオワーク
8	スタジオワーク
9	前期まとめ、テスト
10	後期授業導入、進路面談
11	スタジオワーク
12	スタジオワーク
13	スタジオワーク
14	スタジオワーク
15	スタジオワーク
16	後期まとめ
17	
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度50%、出席率50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務